



～ひかり～



12月生活目標：学校をきれいにしよう

令和5年12月22日 文責：校長 徳弘

16日(土)を中心とした個人面談は、学級担任と心通う情報交換ができましたでしょうか。昨年度に続き今年度も、4月以降、ひと月に1回は参観日や学校行事等の公開、個人面談等を入れて、子ども達の変化や成長をご覧いただく機会、保護者と私達教職員が関わり情報交換をもつ機会を入れてきました。2学期は、9月の秋季大運動会、10月の参観日、11月のマラソン大会、12月の参観日と個人面談をその機会として設定し公開しました。加えて、11月には、4年ぶりに復活した中央区音楽祭に向けた校内音楽発表会や、子ども達と共に芸術・文化の香りを味わって欲しいとご案内した「ようこそ先輩！スペシャルスクールコンサート」も公開しました。高学年の保護者の皆さんは、四万十市・三原村陸上記録会や音楽祭をご覧になった方もいたことでしょう。また、PTA活動もほぼコロナ前に戻った形で、四万十市PTA連合会親睦球技大会や中小祭等、賑やかに開催されました。これからも、保護者の皆さんと多彩な形で交流や親睦を深め、子ども達の健全な成長につなげたいと思います。

道徳教育参観日～道徳科授業・親子学習会・懇談会～

12月7日(木)は、今年度4回目の参観日、心を育てる道徳参観日でした。平日にもかかわらず、多数の保護者やご家族の皆さんがご来校ご参観くださり、ありがとうございました。まずは道徳授業参観でした。学習指導要領に示されている道徳科の目標は、次のとおりです。

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

本校では、令和3年度から週1時間の道徳科を全学級水曜日に位置づけ、教科書をもとに、計画に沿って確実に実施しています。道徳の時間は、教科書の教材を読みながら、人間としてのよりよい生き方につながる道徳的諸価値(低学年19、中学年20、高学年22内容項目)について考え合い話し合い、自分を見つめ=自己理解、人を見つめ=他者理解、生き方を見つめ考える=価値理解を深めながら、漢方薬のように“心の貯金箱”に一つ一つ=一時間一時間、貯金をしていく学習です。各学年35時間、6年間で210時間の学びを重ねていきます。



4年2組:先生の心込めた朗読に子ども達も…

3年:友達の見解を真剣に聞く

5年2組:自分の立場を決めて議論する

2年1組：書く活動も大切に



はつらつとお話してくれました



フランスの
あいさつは…



6年2組：親の愛を受けて



授業後の親子学習会は、ANAフライトアテンダントで、現在、四万十市役所観光商工課に出向勤務している笠井さんを講師に「世界の国々と日本の素晴らしさ～みんな違って みんないい～」をテーマに、保護者の皆さんと3年生以上の児童と一緒に学びました。

航空会社の仕事や仲間の紹介から始まって、美しい四季があること、良質なマナーを行動で示せること、国全体に清潔さがあることを日本の素晴らしさだと話し、日本との比較の中で仕事でも私的にも訪れた世界の国々の衣・食・住をはじめとする文化や習慣、ものの見方・考え方の違い、素晴らしい景色・景観の話や写真など、児童や保護者からの質問にも答えながら、具体的に話を展開していただきました。笠井さんは、来春まで四万十市役所に在籍されます。

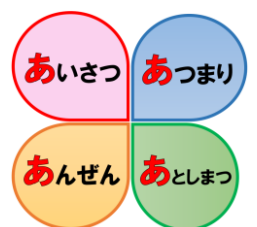
その後の学年・学級懇談会では、二学期全般の振り返りや子ども達の生活習慣、道徳性、学校生活・集団面に関わるアンケート結果をもとにした話し合いをしました。早寝・早起き・朝ごはんに家庭学習といった望ましい生活習慣・学習習慣づくり、夢や目標をもって、自分を大切に生きていくこと、やさしさ・思いやりなど友達を大切にする心や態度、子ども達の間関係など学級・学年集団の問題、家庭での親としての働きかけや親子関係のあり方…、それぞれの担任からの話、保護者の皆さんと話し合ったことを、冬休み、三学期、そして、来年度へ…お子さんの今後の学校生活・家庭生活に活かしていただきますようお願いします。

第2回地域学校協働本部運営委員会 ～児童会が取組発表～

11月27日（月）、今年度第2回目となる「中村小学校地域学校協働本部運営委員会」が開かれました。今回は昼間午後4時の開会で、児童会役員5人が主役となって、「みんな仲よく 笑顔いっぱいの中村小学校にするために」というタイトルで、今年度バージョンの児童会活動の取組発表を行いました。

①4つの「あ」を意識と行動を高める児童朝会、②3年生以上を巻き込んで“レベル5のあいさつ”を目指すあいさつ運動、③通学路のゴミを拾いながら地域の人にあいさつをする『おはボラ活動』、④1年生から6年生までの縦割り班の絆を深めるファミリー朝会、⑤運動を通してみんなを知り仲を深める全校レク、⑥誰もが安心して暮らせる町づくりを目指した赤い羽根共同募金活動の6つの活動を取り上げ、説明と発表をしました。

また、学校の説明は、これまでの学校通信等を使いながら、6月以降の各種行事等、学校の取組について説明しました。委員の皆さんからは、次のような感想や意見をいただきました。



- 街頭指導の時には、子ども達がお辞儀をしながら気持ちの良い挨拶を返してくれる。子ども達の挨拶には、街の人々、大人達を元気にしてくれる力がある。
- ▼まだ街で会った時の挨拶は残念ながら返してくれる人は少ない。
- 送り迎えの親御さんも挨拶を返してくれるようになったことが嬉しい。
- 赤い羽根共同募金も非常に助かっている。ぜひ今後とも続けてもらいたい。
- 児童会の活動は、周りを巻き込んでやっていることが素晴らしい。去年出た意見をもとに、課題を見つけ、課題解決のために行動できていると感じます。
- 今年はたくさんの行事ができて本当に良かった。そういった中で子ども達も大人達も関わりができて、社会性が育っていくのだと思う。
- 合唱部の練習の声もよく聞こえてきており、頑張っているなど思っている。
- ▽学校への送迎が、父母ではなく祖父母の場合に、本来は駐車してはいけない所に駐車して待っているケースがある。
- ▽はれのぼ(天神橋)でゴミを置いたままにするケースがあり、はれのぼの人が片付けてくれている。(はれのぼにはゴミ箱がなく、各自持帰りになっている。)
- ▽自転車のマナー(道路いっぱいになって通っている)が気になる。
- 横断歩道のない所で、中学年くらいの男の子が待っていたので車を止めて通してあげたら、渡った後立ち止まってお礼をしてくれた。とても気持ちよかった。

●▼：児童会発表後の意見
○▽：学校説明後の意見



発表



あいさつ運動



共同募金

校区の区長代表、民生委員・児童委員代表、スクールガードリーダー、スクールソーシャルワーカー、地域代表、地域コーディネーター、PTA役員で構成される中村小学校の地域学校協働本部運営委員会のメンバーは、中村小学校を支え協働してくれる大切な応援隊です。

健康教育・生命(いのち)の学習から

学生さんのふるさとも紹介されます。休み時間等は全校児童と交遊交流。

四万十看護学院生実習 —健康な生活とキャリア教育—



6年1組

事前に研究準備した教材等を使って楽しくわかる授業を展開



6年2組

がんの訪問授業 —がんを学び 生命の大切さを考える—



講師は上岡医師と大家看護師。科学的でわかりやすい授業でした。子ども達は自分の認識も確かめながら真剣に学習していました。



6年生

生命の授業 —いのちと赤ちゃんの誕生—



お母さんになつた気分♡



みんな 笑顔
笑顔 笑顔

4年生



講師は助産師資格を持つ藤田先生
取り上げてもらった子もいるかも…?



入賞おめでとう

四万十市人権フェスティバル「人権絵画・標語作品展」：四万十市主催

- 〔標語〕 ●優秀賞●
- 1年…大崎「まいにちね みんないるから がんばれる」
松本「ありがとう みんなともだち だいすきだよ」
 - 2年…坂本「みんなでね 一人ぼっちがいない クラスを作ろう」
 - 3年…高橋「いのちはね 家ぞくにもらった たからもの」
東「だいじょうぶ みんなはいるよ すぐそばに」
 - 4年…笠井「つめたい心 あたためてくれる そのえがお」
長者「なかないで みんな仲間で 友だちだ」
 - 5年…岡本「みんながね 楽しくすごせる 街づくり」
白井「みんなには あふれる愛が あるんだよ」
中平「君らしい みんなの姿 ほめ合おう」
 - 6年…柿葉「一人一人の やさしい気持ちに ありがとう」
木村「いやなこと 人はそれぞれ ちがうんだ」



第69回高知県青少年読書感想文コンクール：高知県学校図書館協議会主催

- 入選●
- 3年…高橋「ライスボールとみそ蔵と」
柿葉「わたしのど力目ひょう」
藤原「少年大谷翔平『二刀流』物語」
 - 5年…永野「命と努力の大切さ」



*「 」は読んだ本、もしくは
感想文の題名です

第73回“社会を明るくする運動”作文コンテスト：社会を明るくする運動高知県推進委員会主催

- 高知保護観察所長賞● 5年：齋藤「がまんなんかいらない」

